

レンジフードファン 取扱説明書

保証書付

NBH-632/732/932

型式名：NBHW-632/732/932

BH-639/739/939

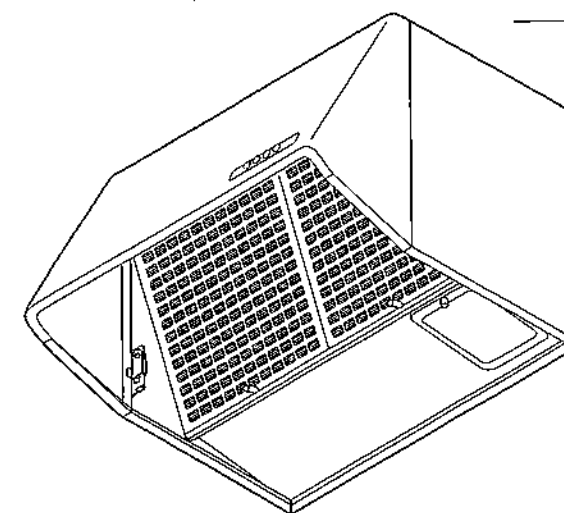
も く じ

ページ

安全上のご注意	1・2
使用上のお願い	3
各部の名前	4
使い方	4
ランプの交換のしかた	5
お手入れのしかた	6～9
故障かな?と思ったら	10
アフターサービスについて	11・12
仕様	12
保証書	14

■ご愛用の皆様へ

このたびはレンジフードファンをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。
この取扱説明書のP14が保証書となっています。
内容をよくご確認のうえ、大切に保存してください。



■アフターサービスのお問い合わせ

修理のご依頼・サービス部品のご用命は下記のサンウエーブお客さまセンター「修理受付ダイヤル」までお願い致します。

☎0120-0000-72 ※ IP電話等でつながらない場合は、恐れ入りますが TEL.03-5283-8757 にお掛けください。

■受付時間

月～金：9:00～20:00 土日祝：9:00～18:00 定休日：年末年始、夏期休暇

※ 修理のご依頼、サービス部品のご用命は関連会社のサンウエーブレクア(株)が承ります。

■商品についてのお問い合わせ

お近くのショールームまたは下記のサンウエーブお客さまセンター「お客さまダイヤル」までお願い致します。

☎0120-1905-21 ※ IP電話等でつながらない場合は、恐れ入りますが TEL.03-5283-8760 にお掛けください。

■受付時間 月～日：9:00～18:00 定休日：年末年始、夏期休暇

○お客さまセンター 東京都千代田区猿楽町2-6-10 FAX.03-5280-8718
(2006年11月1日現在)

※ 上記の内容は、予告なく変更することがあります。



サンウエーブ工業株式会社

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-6-10
TEL.03(3518)4311(大代表)



安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意

人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示の例



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告

- ランプを交換するときは、必ずスイッチを切るか、電源プラグをコンセントから抜くか、または分電盤のブレーカを切ること

感電のおそれがあります



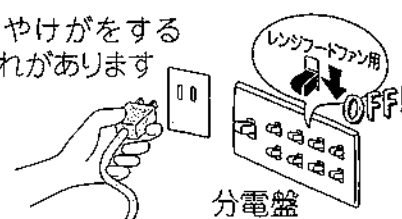
プラグを抜く

- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、または分電盤のブレーカを切ること
また、ぬれた手で抜き差し、入/切しないこと

感電やけがをする
おそれがあります



プラグを抜く



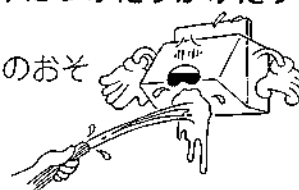
分電盤



水かけ禁止

- 電気部品(モーター・スイッチ等)は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと

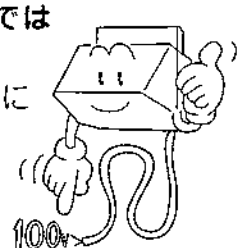
ショート・感電のおそれがあります



使用禁止

- 交流100V以外では使用しないこと

火災・感電の原因になります。



分解・修理・改造禁止

- 修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造はしないこと

火災・感電・けがの原因になります



操作禁止

- ガス漏れのときは、スイッチを入/切しないこと

爆発・引火のおそれがあります



ほこりをとる

- 電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふくこと

火災の原因になります

レンジフードファン保証書

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

記

保証期間	ご購入後1年間	ご購入後月日	年	月	日
☆お客様	ご住所	様 TEL			
☆販売店	お名前	様 TEL			
	住所	TEL			
	名称	TEL			

- 保証期間は、ご購入の日から1年間とし、機器本体を対象とします。
保証期間中故障が生じた場合は、本書をご提示のうえ、ご購入の販売店、または当社お客様センター(修理受付ダイヤル)に修理をご依頼ください。
- ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理依頼できない場合は、当社お客様センター(修理受付ダイヤル)にご相談ください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。
- 保証書についての規定は、下記をご覧ください。

無料修理規定

- 保証期間内で取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、ご購入の販売店が無料修理いたします。
 - 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、ご購入の販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
 - 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障、および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の取付け場所の移動、落下等による故障、および損傷。
 - (ハ) 火災、水害、地震、落雷、その他の天災地変や公害、異常電圧による故障、および損傷。
 - (ニ) 一般家庭以外(例えば、業務用の長時間使用、車両への搭載)に使用された場合の故障、および損傷。
 - (ホ) 本書の提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (ト) 指定外の使用電源(電圧、周波数)の使用による故障、および損傷。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理等について、ご不明の場合は、ご購入の販売店、または当社お客様センター(修理受付ダイヤル)にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

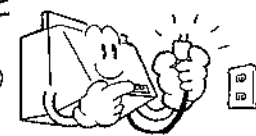
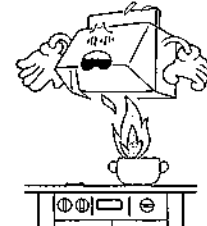
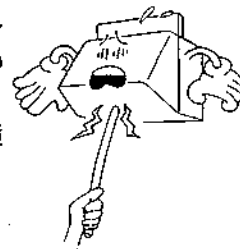
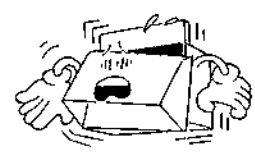
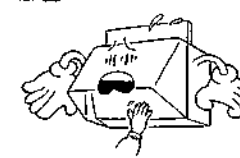
個人情報の取り扱いについて

- お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内のサービス活動、およびその後の安全点検のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 修理やその確認業務を当社の関連会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行、または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。

お客様へ
この保証書をお受け取りになるときに、ご購入日、販売店名、取扱店が記入してあることをご確認ください。

サンウェーブ工業株式会社
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-6-10
電話 03(3518)4311(大代表)

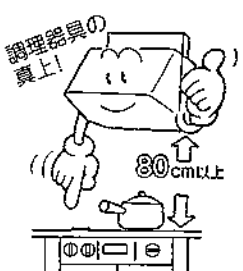
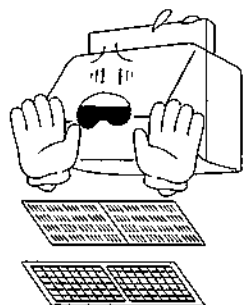


⚠ 注 意	
 プラグを抜く	● 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと コードに傷がつき、火災や感電の原因になります 
 運転停止	● 調理中、油に火がついたときは、運転を止めること 運転をしていると、火の勢いがよけいに強くなり危険です 
 接触禁止	● 運転中は指や物を絶対に入れないこと けがをしたり、故障の原因になります 
 手袋をする	● お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること 鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります 
 使用禁止	● 指定以外のランプを使わないこと ランプカバー周辺が高温となり、やけどのおそれがあります
 禁 止	● レンジフードファンの上に物を置かないこと 落下してけがをしたり、火災や故障の原因になります
 プラグを抜く	● 長時間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、または分電盤のブレーカを切ること 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります 
 取付注意	● ファンや部品の取り付けは確実に 落下によりけがをするおそれがあります 
 接触禁止	● 調理中は、スロットフィルタや周辺の部品に手を触れないこと スロットフィルタや部品が落下して、やけどやけがをするおそれがあります 
 使用禁止	● 本体に異常な振動が発生した場合、使用しないこと 本体・部品の落下によりけがをするおそれがあります
 高温注意	● ランプの交換は、ガラスやランプが十分冷めてからおこなうこと やけどのおそれがあります

使用上のお願い

使用上のお願い

- 調理器具を使用するときは、必ずレンジフードファンを運転してください
運転しないとフード内の温度が上がり、製品の損傷や高熱による故障の原因になります
- レンジフードファンの運転中は給気をおこなってください
レンジフードファンの反対側の壁に空気の入入口を設けるか、部屋の扉を少し開けてください。空気の取り入れが不十分ですと換気性能が低下します
- 調理器具の空焚きは絶対にしないでください
製品の損傷や高熱による故障の原因になります
- 市販のグリスフィルターに交換したり、重ねて使用しないでください
吸い込みが悪くなり、異音・振動が発生する場合があります。性能を維持するため、純正の金属製スロットフィルタをご使用ください
- エアコン・部屋の扉や窓からの風が直接あたらないようにしてください
風を受けると、吸い込みが悪くなります。オープンな場所では特にレンジフードファンから漏れやすくなります
- 湯沸器はレンジフードファンから50cm以上離してください
レンジフードファンの下部には湯沸器を絶対に取り付けしないでください
製品の損傷や高熱による故障の原因になります
- 調理器具の真上、80cm以上に取り付けてあるか確認してください
火災予防のため、火災予防条例ではグリスフィルターの下端が調理器具の真上、80cm以上必要です
- IHクッキングヒーター（電気こまろ）を使用時、レンジフードファンがあたたまりにくいため、結露（水滴）が生じることがあります。お手数ですがその際は滴下する前にふきとってご使用ください
特に冬期など気温の低い状況では結露がしやすいですのでご注意ください
- グリル付の調理器具と合わせて使用する場合、グリル排気口から出る煙によって、壁パネルもしくはレンジフードファンの表面に結露（水滴）が生じることがあります。お手数ですがその際は滴下する前にふきとってご使用ください。
特に冬期など気温の低い状況では結露がしやすいですのでご注意ください



愛情点検



★長年ご使用の製品の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても、動かないときがある。
- 運転中に異音・振動がある。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他、異常・故障がある。

ご使用中

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り必ずお買い上げの販売店、または、当社お客さまセンター（修理受付ダイヤル）に点検・修理をご相談ください。

仕様

型式名	定格電圧 (V)	ノッチ	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)
NBH-632 NBH-732 NBH-932 NBHW-632 NBHW-732 NBHW-932	100	強	50	101	590	42
BH-639 BH-739 BH-938			60	111	550	40
		弱	50	45	315	29
			60	45	290	27

- 消費電力、風量、騒音の測定は、JIS C 9603による。
- 騒音値、風量は実際の使用条件では変化しますのでご了承ください。
- レンジフードファンに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

× 毛

□ アフターサービスについて

ご不審な点や故障のおきた際には、お買い上げの販売店、または当社お客さまセンター（修理受付ダイヤル）にご連絡ください。

1 点検・修理の申し込み方法

- 本説明書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。一度点検をしてみてください。
- 点検をしても不具合が直らない場合や、記載している以外の不具合がある場合は、自分で修理しないで、お買い上げの販売店、または当社お客様センター（修理受付ダイヤル）に点検・修理を依頼してください。

2 保証について

- 取扱説明書のP14が保証書になっています。
- 必ず「販売店名・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日から1年間です。
機器の販売後、機器の故障がある場合、一定条件のもとに無料修理に応ずることをお約束致します。
(詳細は保証書をご覧ください)
- 保証書を紛失されますと無料修理期間中であっても修理費をいただく場合がありますので大切に保管してください。

3 サービス部品(補修用性能部品)について

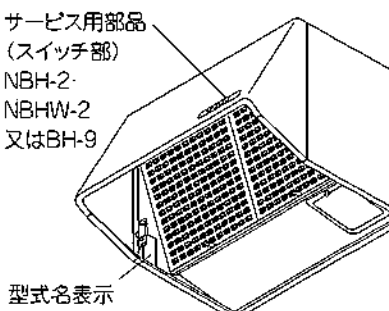
- 当社は、この製品の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です)
- 無料修理期間経過後の修理についてはお買い上げの販売店、または当社お客さまセンター(修理受付ダイヤル)にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理致します。
- 部品の交換についてはお買い上げの販売店、または当社お客さまセンター(修理受付ダイヤル)にご相談ください。

4 廃棄処分について

- 廃棄処分の際は必ず専門業者に依頼してください。

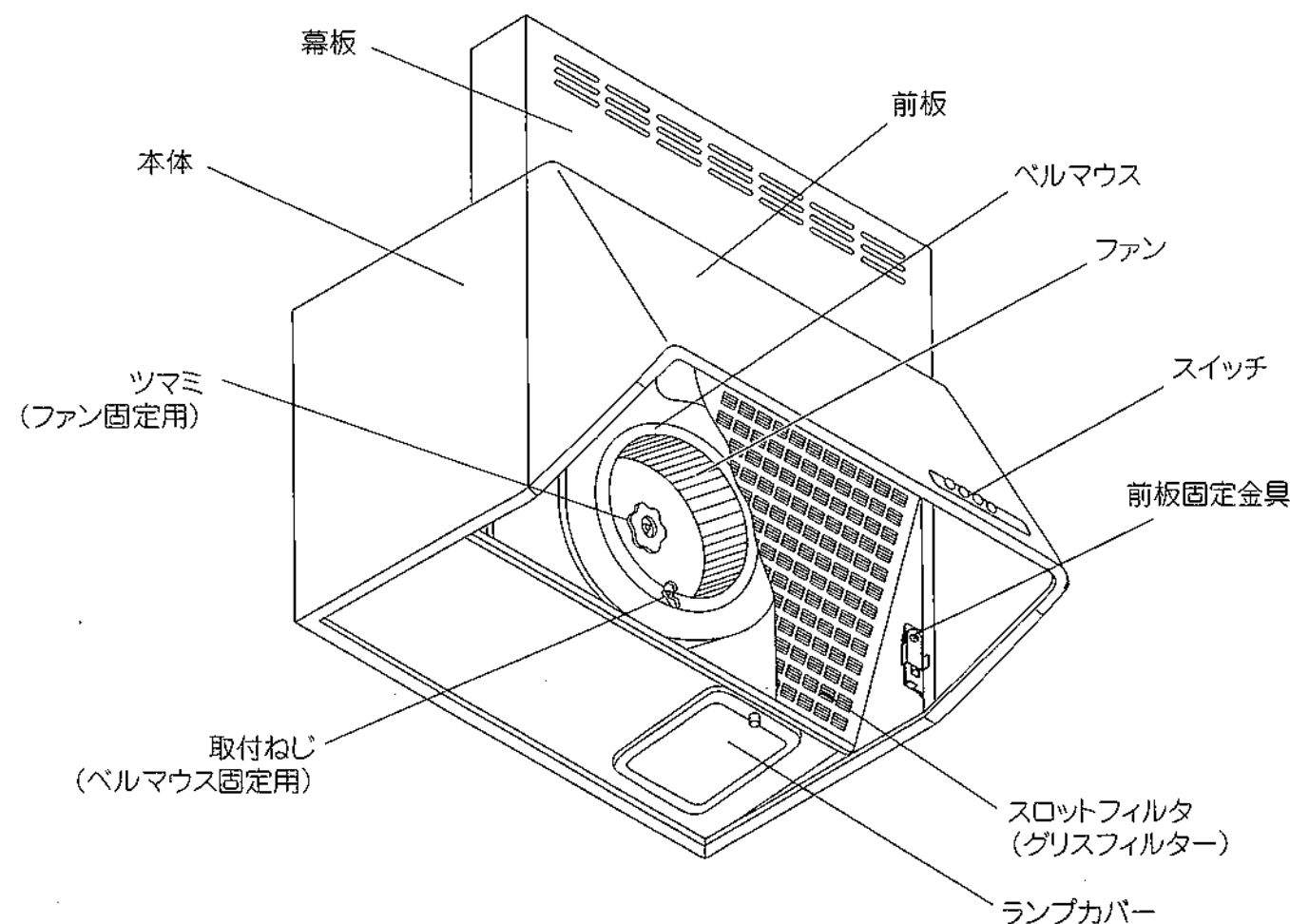
5 お知らせいただきたいこと

■お申し込みの際は次のことをお知らせください。

1. 品名・型式	型式名と製造番号もあわせてお知らせください。 お願い レンジフードファンの型式名は、本体の左側面内側に表示してあります。スイッチ部にはサービス用品名が表示してあります。  サービス用部品 (スイッチ部) NBH-2 NBHW-2 又はBH-9 型式名表示 〈例〉  型式名 製造番号 ※取扱説明書にも型式名が表示してあります。
2. 状態	どのようになっていますか？ 故障と思われる状態を、できるだけ詳しくお願いします。
3. ご住所	ご自宅の住所、電話番号、お名前、付近の目印をお願いします。
4. 日時	訪問ご希望日と時間をお願いします。

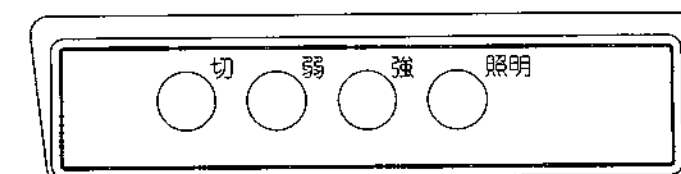
当社お客さまセンター（修理受付ダイヤル）は裏表紙に記載しています。

□ 各部の名称



□ 使い方

- スイッチのボタンを押します。
 (「入」の状態ではボタンが引込みます)



- (照明) ランプが点灯します。
 ランプを消すときは再度押してください。
- (強) 煙などが多く出るとき、早く排気したいとき。
- (弱) 煙などが少ないとき、長時間静かに運転したいとき。
- (切) 運転が停止します。(ランプは消えません)

ランプの交換のしかた

!

警告

● ランプを交換するときは、必ず照明スイッチを「切」にし、さらに運転スイッチを「切」にするか、電源プラグをコンセントから抜くか、または分電盤のブレーカを切ること
また、ぬれた手で抜き差し、入／切しないこと
感電やけがをするおそれがあります

プラグを抜く

「入」の状態
(他のボタンより引っ込んでいる)

「切」の状態
(他のボタンと同じように出ている)

!

注意

● 指定以外のランプを使わないこと
ランプ周辺が高温になり、故障や、やけどのおそれがあります

● ランプの交換は、ガラスやランプが十分冷めてからおこなうこと
やけどのおそれがあります

● お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

手袋をする

ご使用のランプが切れたときは、市販の一般照明用電球（定格100V40W以下・口金径26mm）を購入し、交換してください。

●ランプの交換方法

(1) ランプカバーのツマミをゆるめ、はずします。

(2) 切れたランプを取りはずし、ランプカバー内のソケットに新しいランプを確実に固定します。

お願い

● ランプカバーが落下するおそれがあるので、必ず手でささえながら作業してください。

※ 完了後、電源プラグを抜いた場合は、電源プラグを差し込んでください。
ブレーカを切った場合は、ブレーカを入れてください。

故障かな?と思ったら

●故障かな?と思ってもよく調べてみると故障でない場合もあります。
修理を依頼されるまえに、もう一度次の点をお調べください。

症状	考えられる原因	処置
● スイッチを入れてもファン・照明の電源が入らない。 ● ファンがまわらない。	● 分電盤のブレーカが「切」になっている。 ● コネクタの差し込み不完全。 ● 電源プラグがはずれている。	● 分電盤のブレーカを「入」にする。 ● 奥まで差し込む(7ページ参照) ● 確実に差し込む。
● 照明がつかない。	● ランプが切れている。 ● ランプの取り付けがゆるんでいる。	● ランプの交換をする。 ● ランプを取り付け直す。(5ページ参照)
● 異音がする。 ● 回転が遅い。 ● 回転が不規則。	● ファンのツマミがゆるんでいる。 ● ベルマウスの取付ねじがゆるんでいる。 ● ファンの取り付けが不十分。 ● スロットフィルタが汚れて目詰まりしている。 ● 外からの給気が十分でない。	● ファンのツマミを締め直す。(8ページ参照) ● ベルマウスの取付ねじを締め直す。(8ページ参照) ● ファンを取り付け直す。(8ページ参照) ● スロットフィルタをお掃除する。(9ページ参照) ● 窓・給気口を開け、十分な給気を確保する。
● 吸い込みが悪い。	● 市販のグリスフィルタを重ねている。 ● スロットフィルタが汚れている。 ● 外からの給気が十分でない。 ● エアコンや窓からの風で煙が横にもれる。 ● 屋外のベンドキャップの防鳥網が目詰まりしている。 ● 屋外の防火ダンパーが閉じていて、排気されない。	● 市販のグリスフィルタをはずす。 ● スロットフィルタをお掃除する。(9ページ参照) ● 窓・給気口を開け、十分な給気を確保する。 ● 風があたらないようにする。 ● 修理を依頼する。 ● 修理を依頼する。
● 焦げ臭いにおいがする。	● 製品に異常がある。	● 修理を依頼する。

— 5 —

— 10 —

1402 C883

□ お手入れのしかた

2. お手入れのしかた

警告

●電気部品（モータ・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと
ショート・感電のおそれがあります



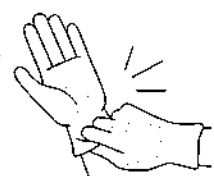
水かけ禁止

注意

●お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

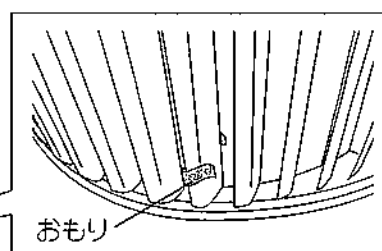
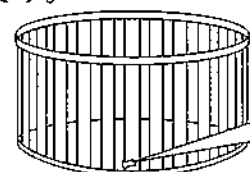


手袋をする



お願い

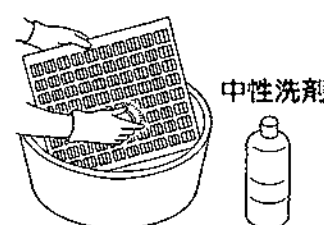
- こまめにお掃除してください。
特にスロットフィルタは汚れやすいので1ヶ月に1度程度の頻度でお掃除してください。
油が付着した状態で長時間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。
早めにお掃除いただきますと汚れも簡単に落とせますし、塗装面の劣化も防げます。
- ファンにおもり（クリップ状の金具）が付いている場合があります。
これはファンの回転バランスをとるためのものです。
異音・吸い込み不良の原因になるので、絶対にはずさないでください。



おもり

■ スロットフィルタ

1ヶ月に1度程度、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸したのちやわらかい布やスポンジなどで洗ってください。
汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。



中性洗剤

■ ファン

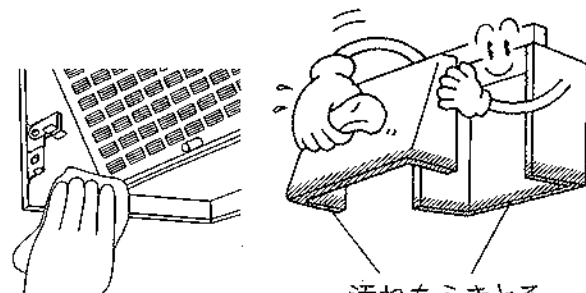
本体からはずして、中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。
汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。



中性洗剤

■ 本体、前板

中性洗剤溶液に浸した布で汚れをふきとったあと、洗剤が残らないよう、水を湿らせた布で洗剤をよくふきとってください。
特に下端部は汚れが付きやすいのでこまめにふきとってください。



汚れをふきとる

□ お手入れのしかた

警告

●お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、または分電盤のブレーカを切ること
また、ぬれた手で抜き差し、入/切しないこと
感電やけがをするおそれがあります



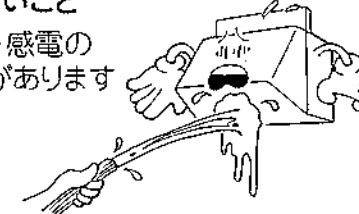
プラグを抜く



●電気部品（モータ・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと
ショート・感電のおそれがあります



水かけ禁止



※ 完了後、電源プラグを抜いた場合は、電源プラグを差し込んでください。
ブレーカを切った場合は、ブレーカを入れてください。

注意

●お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



手袋をする



●ファンや部品の取り付けは確実に
おこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります



取付注意



お手入れの際のお願い

- お掃除はこまめにする
- 油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。
（変質がひどいと擦っただけではがれることがあります）
- 特に、スロットフィルタは汚れやすいので1ヶ月に1度程度の頻度でお掃除してください。
早めにお掃除いただきますと、汚れも簡単に落とせると同時に塗装面の劣化も防げます。
- 中性洗剤を使う
- お掃除の際には、台所用中性洗剤をご使用ください。
右図のものを使用されますと、塗装面が変色したり、キズが付いたり、はがれたりするおそれがあります。
汚れがひどくアルカリ性合成洗剤を使われる場合は洗剤に表示している使用上の注意をよくお読みになって、目立たないところで試してからご使用ください。
- 熱湯は変形のもと
- 60℃以上の熱湯は、使用しないでください。樹脂部品が変形するおそれがあります。
- 専用のフィルタ（製品に予めセットしてあるもの）を使う、他のフィルタを重ねない
- 専用のフィルタ以外のフィルタを使用したり、専用のフィルタに他のフィルタを重ねたりすると、通気抵抗が大きくなり、吸い込み不良や異音発生、故障などの原因になるおそれがあります。
- ファンを変形させない
- ぶつけたり、落としたりして変形したファンで運転すると、振動や異音が発生するおそれがあります。
- ファンなしでは運転しない
- ファンをはずした状態で運転しないでください。モータが過熱して故障の原因になります。
- 調理直後のレンジフードファンは熱くなっている場合がありますのでご注意ください。

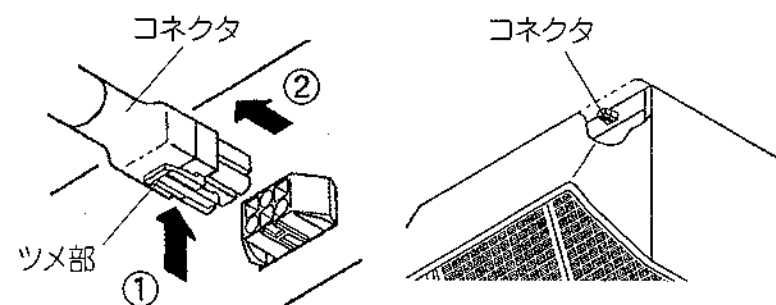


金属たわし スポンジたわしの硬い面 研磨剤入りたわし

■ お手入れのしかた

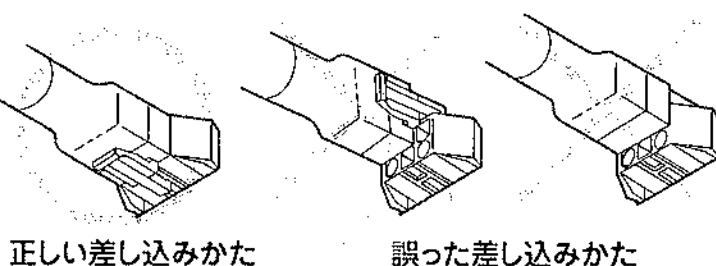
1. 取りはずし・組み立てのしかた

- (1) コネクタをはずします。
①のツメ部を押しながら、②方向へ引き抜きます。



お願い

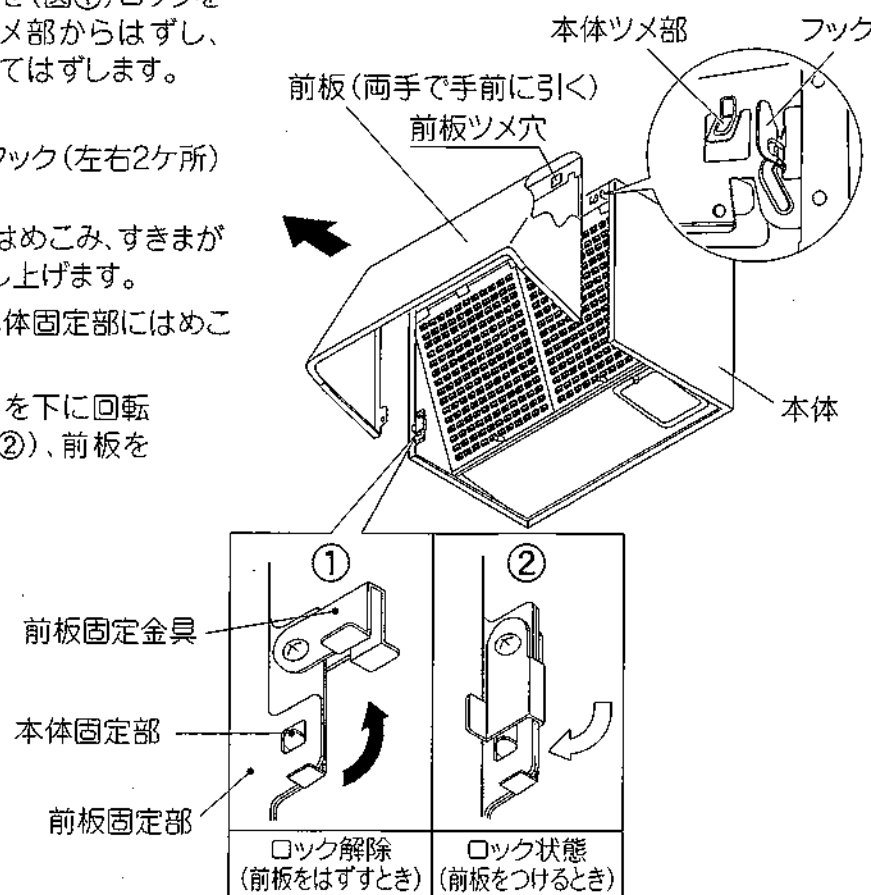
取り付ける場合は、コネクタの向きを確認し確実に根元まで差し込んでください。



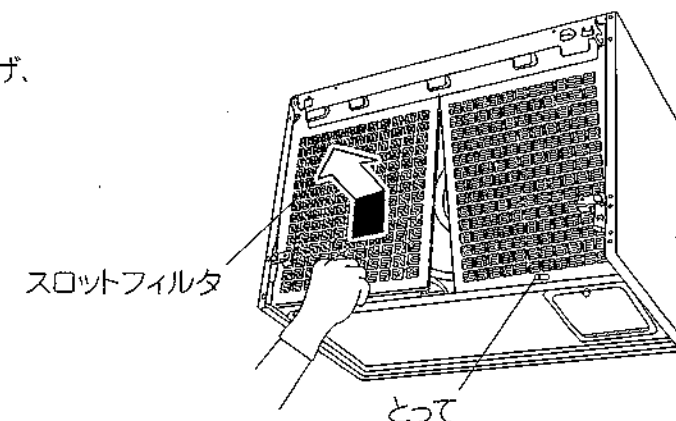
- (2) 前板をはずします。
前板固定金具を内側に回転させ(図①)ロックを解除し、前板ツメ穴を本体ツメ部からはずし、前板を両手で持ち、手前に引いてはずします。

※ 前板を取り付ける場合

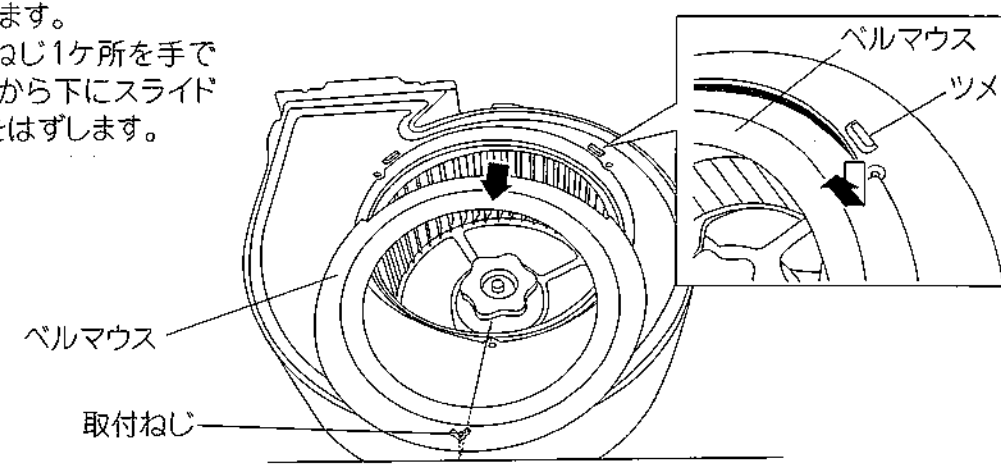
- ① 前板を両手で持ち、本体のフック(左右2ヶ所)に引っ掛ける。
② 前板ツメ穴を本体ツメ部にはめこみ、すきまがないようになめらかに押し上げます。
③ 前板の下の前板固定部を本体固定部にはめこみます。(図①)
④ 前板固定金具(左右2ヶ所)を下に回転させてロックを確認し(図②)、前板を確実に固定させてください。



- (3) スロットフィルタをはずします。
スロットフィルタのとってを持って上にあげ、手前に引きます。

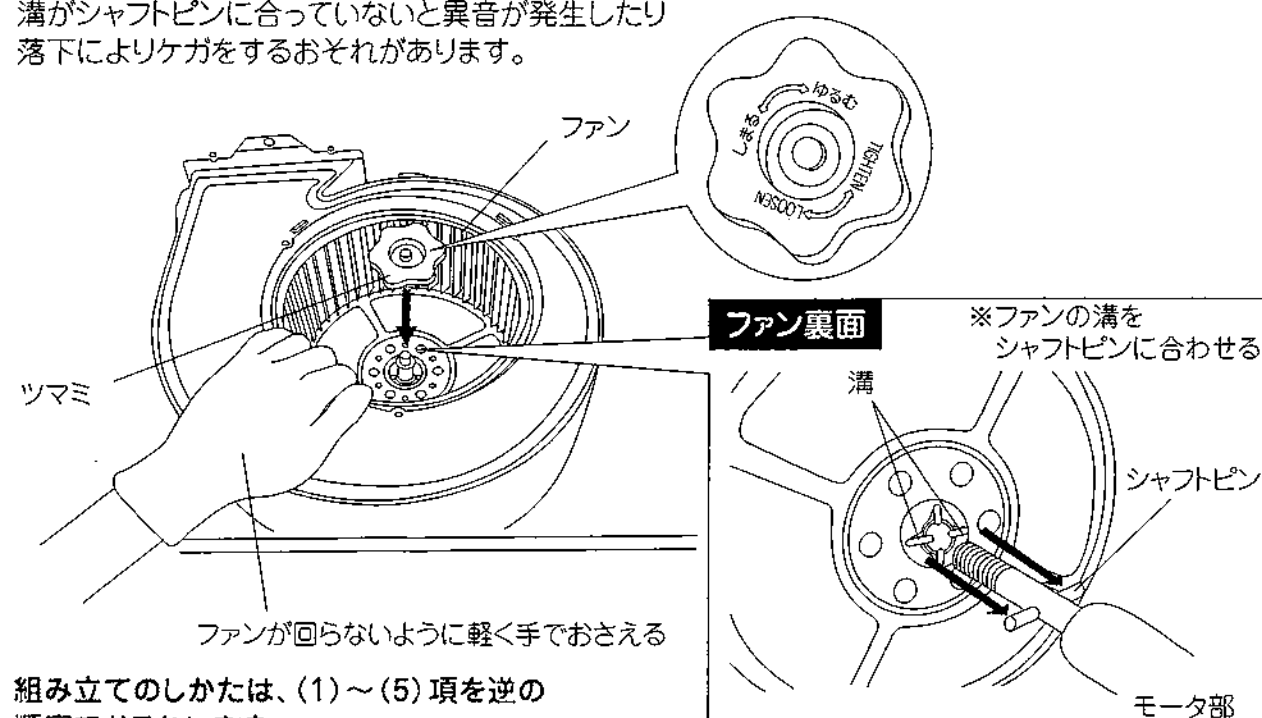


- (4) ベルマウスをはずします。
ベルマウスの取付ねじ1ヶ所を手でゆるめて、上部ツメから下にスライドさせて、ベルマウスをはずします。



- (5) ファンをはずします。
ファンが回らないように軽く手でおさえツマミを「ゆるむ」の方向に回してはずしたあと、ファンを取り出します。

※ 取り付けるときは、ファン裏面の溝がシャフトピンに合うように差し込みツマミを締めつけます。溝がシャフトピンに合っていないと異音が発生したり落下によりケガをするおそれがあります。



※ 組み立てのしかたは、(1)～(5)項を逆の順序でおこないます。